

ネオシリウス・クラウド 導入事例の発表記録

・導入背景

新システム導入条件として、保守の時期やリースの期限に左右されない事、システムの入替え時に費用を軽減できる事、管理者の負担を軽減できる事、PCの知識が乏しい者でも管理できる事、停電等のトラブルに左右されない事、節電対策が出来る事などがあった。

・選定理由

本学で使用していたオンプレミス型のリースが2012年9月で終了となる為、新システムを2011年11月頃から教職員で構成される作業部会で検討した。この作業部会でシステムの選定から見直し、システム要件として、導入費用・管理者の負担軽減、停電に左右されない事、節電対策ができる事、今まで利用してきた機能と同等の機能を有する事(My Library・購入希望図書依頼メール・図書予約)、セキュリティが確保されている事が挙げられた。

上記の要件を満たすシステムとして、クラウド型を採用した。導入業者の選定は、クラウドシステムを有する日本事務所のネオシリウス・クラウドを採用した。ネオシリウス・クラウドはパッケージと同等の機能が利用でき、バージョンアップを行った際、カスタマイズ部分も次世代で標準装備されているという利点がある。

・スケジュールについて

システムをネオシリウス・クラウドに決定後、7月にスケジュール・ネットワーク環境の確認、テスト移行データの抽出を行い、8月にテスト移行データで動作の確認を行った。9月に本番データで動作の確認、旧サーバの停止、DNSの切替等スムーズに行え、本稼働まで3ヶ月という速さで実現できた。

・費用について

オンプレミス型とクラウド型を5年間利用した場合で比較した結果、本学においては削減ができた。また、クラウド型は長期的に見ると、オンプレミス型と異なり導入経費もかからないため、更に多くの費用を削減できる。

・使用開始後に感じている点

クラウド型に変更した現在、弊害等は出ておらず、管理者にとっては停電によるシステム停止の不安もなく、バックアップテープの交換が不要の為、負担軽減となった。また、学生にとってはどこからでも蔵書検索ができるというメリットがあり、管理者・ユーザーにとって良いシステムだと言える。